

津田 学（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

1. 一般財団法人 大学教育質保証・評価センター 評価委員

7 学会等での活動

1. 日本分子生物学会
2. 日本ショウジョウバエ 研究会

8 学内教育活動

1. 細胞生物学（栄養学科）
2. 細胞生物学（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
3. 生物学基礎実験（栄養学科）
4. 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
5. 分子生物学
6. バイオテクノロジー基礎実験 他

9 学内各種委員会活動

1. 1) 総務企画委員会委員
2. 2) 学科長会議委員
3. 3) 学長補佐会議委員
4. 4) 教育研究審議会委員
5. 5) 合同会議(役員会・経営審議会・教育研究審議会)委員
6. 6) COI 委員会委員
7. 7) 地域貢献研究センター運営会議委員
8. 8) 人総学科内専任教授会議長
9. 9) 人総学科会議議長 他

木村 芳滋（大学院保健福祉学研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 木村芳滋 「バイオ分野における表面化学分析標準化の重要性」, 季刊誌『標準化と品質管理』印刷中.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本医用マスメクトル学会評議員
- 2) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会)
国際コンビナー, 国内主査
- 3) 日本学術振興会 R026 先端計測技術の将来設計委員会 委員

7 学会等での活動

- 1) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 総会 (Bellingham, USA) 口頭発表 “ISO/TC201/WG4: Standardization of Surface Characterization of Biological Materials”

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理委員会 委員長
 - ・ 学内手引きの改訂
 - ・ 学内研究倫理審査研修会担当 など

12 受賞

- 1) ISO Award of Excellence ISO 20579-3: 2021 Surface Chemical Analysis – Guidelines for sample handling, preparation and mounting”

14 その他

- 1) 国際共同研究
Abdullah Gül 大学 (トルコ) Oktay Kaplan 博士 「線虫の細胞内輸送解析」
アイルランド国立大 Oliver Blacque 准教授 「線虫のチューブリン翻訳後制御解析」
コロンビア大学(米国) Martin Chalfie 教授 「線虫運動ニューロンの IMS 解析」
- 2) 国内共同研究
浜松医科大学 瀬藤光利教授 「線虫の質量分析イメージング」
成蹊大学理工学部 青柳里果教授 「線虫の TOF-SIMS 解析」
東京大学薬学部 浦野泰照教授 「線虫 IMS 解析に用いるマーカーの開発」
アルバックファイ株式会社 「高解像度質量分析イメージングによる線虫 C.エレガンスの細胞構造解析」

関 勝 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 関 勝. 標準リハビリテーション医学第4版 (医学部教科書). 医学書院, 東京、2023
- 2) 関 勝. 理学療法士作業療法士必修ポイント. 医歯薬出版, 東京、2023
- 3) 関 勝. イラストと動画で学ぼう! 人間発達学 (保健系学部教科書). 診断と治療社, 東京、2023
- 4) 関 勝. はじめての講義 リハビリテーション医学の事始め (保健系学部教科書). 南江堂, in press

2 学術論文

- 1) Seki M. Paradigm shift in rheumatoid arthritis affects education in rehabilitation-related profession. JJRM ; [all.pdf \(congre.co.jp\)](https://all.pdf(congre.co.jp)) 、2023

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) JISPRM(The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine) potential Editorial Reviewer
- 2) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 3) ICME (institute of complex medical engineering) councilor
- 4) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer
- 5) JJCRS: Editorial Board
- 6) 厚生労働省 (公益財団法人柔道整復研修試験財団) 国家試験委員会・幹事委員
- 7) 厚生労働省 (公益財団法人社会福祉振興試験センター) 国家試験委員会委員
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員
- 9) 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 10) 第61回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 11) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 12) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 13) 日本小児リハビリテーション学会評議員
- 14) 慶應義塾大学医学部・慶應医学会オフィシャルメンバー
- 15) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学 SIG メンバー
- 16) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・脊髄障害 SIG メンバー
- 17) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学医学部および大学院医学研究科非常勤講師
- 2) 慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師
- 3) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師 (スポーツマネジメント専攻)
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会代議員
- 5) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 6) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医認定試験委員会特別委員

- 7) 日本小児リハビリテーション学会評議員
- 8) 神奈川リハビリテーション研究会幹事
- 9) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 10) 学校法人日本医療科学大学保健医療学部非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 11) 慶應義塾大学病院・埼玉医科大学国際医療センター等からの教育・研究コンサルテーション等連携実践

6 講演、放送

- 1) 関 勝. 関節リウマチ治療のパラダイムシフトが及ぼすリハビリテーション専門職養成における大学教育へのインパクト, 第 60 回公益財団法人日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡
- 2) 関 勝. 「呼吸・身体活動；多職種連携セッション」座長, 第 60 回公益財団法人日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡

7 学会等での活動

- 1) 22th ICME (institute of complex medical engineering) Council Meeting (2023)
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 2023 年度代議員総会, 福岡
- 3) 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会(2023), 横浜
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 2024 年度代議員選挙再選
- 5) 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (福岡) プログラム委員 (2023)
- 6) 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (福岡) 演題査読委員 (2023)
- 7) 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (福岡) 座長 (2023)
- 8) 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (東京) プログラム委員 (2023)
- 9) 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (東京) 演題査読委員 (2024)
- 10) 第 7 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (宮崎) 代議員 (2023)
- 11) 日本小児リハビリテーション学会 (2023) 評議員, 東京
- 12) Stroke2023 ; 第 48 回日本脳卒中学会学術集会 (2023) 専門医更新, 横浜
- 13) Stroke2023 ; 第 52 回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2023) 専門医更新, 横浜
- 14) Stroke2023 ; 第 38 回 spasm symposium (2023) 専門医更新, 横浜
- 15) 第 88 回日本温泉気候物理医学会総会学術集会・療法医 (2023)
- 16) 第 20 回三浦半島リウマチのトータルケア懇話会 (2023), 横須賀
- 17) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人 (2023), 横須賀
- 18) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事 (2023), 神奈川
- 19) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医・特別試験委員 (2023), 東京
- 20) 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室および大学院医学研究科・慶應義塾大学看護医療学部および慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科スポーツマネジメント専攻・埼玉医科大学国際医療センターとの教育・研究・コンサルテーション等連携実践

8 学内教育活動

- 1) 2023 年度全担当科目講義視聴覚教材製作・科目責任者等
以下全担当科目
(看護) 疾病と治療 I

病態治療学

(社福) リハビリテーション論

(リハPT専攻・OT専攻) リハビリテーション概論

リハビリテーション医学

神経内科学

脳神経外科学

整形外科学Ⅰ

整形外科学Ⅱ

2) 大学院博士後期課程科目・多職種連携システム開発演習委嘱

9 学内各種委員会活動

- 1) 附属図書館長
- 2) 神奈川県大学評価委員会構成員
- 3) 大学自己評価・内部質保証審査会委員
- 4) 大学自己評価・内部質保証推進会議委員
- 5) 神奈川県大学監査構成員
- 6) 大学幹部会議構成員
- 7) 大学教育研究審議会委員
- 8) 学長補佐会議構成員
- 9) 役員会・経営審議会・教育研究審議会合同会議構成員
- 10) 大学津波火災避難訓練本部員
- 11) 教員選考委員会委員
- 12) 大学図書委員会陪席
- 13) 入学試験（推薦帰国社会人・共通試験・前期および後期入試）面接・業務委員
- 14) 教授会構成員
- 15) 各FDSD講演参加
- 16) 研究倫理コンプライアンス教育研修実施
- 17) 教員昇任審査学科内委員会委員
- 18) 学科専任教授会構成員・学科会議構成員
- 19) その他学事等関連会議等

13 特許など

- 1) 一般社団法人日本臨床神経生理学会・専門医資格更新
- 2) 一般社団法人日本臨床神経生理学会・専門技術師資格更新
- 3) 一般社団法人日本専門医機構認定資格（リハビリテーション科）
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医および認定臨床医資格更新

成 耆鉉（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

2 学術論文

- 1) Ki-Hyeon Seong, Tadashi Uemura, and Siu Kang (2023), Road to sexual maturity: Behavioral event schedule from eclosion to first mating in each sex of *Drosophila melanogaster*, *iScience*, 26(9), 107502.

3 その他の著作

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1)
- 2)

5 社会貢献

- 1)
- 2)
- 3)

6 講演，放送

- 1)
- 2)
- 3)

7 学会等での活動

- 1) 日本昆虫学会第 84 回大会・第 68 回日本応用動物昆虫学会大会において口頭発表(3 月 31 日)

8 学内教育活動

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会委員
- 2) 研究委員会副委員長
- 3) 大学誌編集長
- 4) 動物実験専門部会員
- 5) チューター担当教員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 挑戦的研究(開拓)

11 学内研究助成金の受託

12 受賞

13 特許など

14 その他

深沢 和彦（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 金 龍哲・深沢 和彦，(2024)．教育の原理と実践．三恵社．
- 2) 金 龍哲・深沢 和彦，(2024)．教師の仕事．三恵社．

2 学術論文

- 1) 鹿毛雅治，河村茂雄，木村優，羽野ゆつ子，深沢和彦，姫野完治，秋田喜代美．(2023)．教師の専門的能力ーその心理学的考察ー，教育心理学年報第 62 集，238－252．

3 その他の著作

- 1) 深沢和彦，河村茂雄．(2023)．親和学級 2 タイプの比較検討(1) 日本教育心理学会第 65 回総会発表論文集，354．
- 2) 深沢和彦，河村茂雄．(2023)．学級満足群児童の学級タイプによる比較検討 日本教育カウンセリング学会第 20 回研究発表大会発表論文集，60－61．

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本教育心理学会社員
- 2) 日本カウンセリング学会社員
- 3) 日本学級経営心理学会常任理事（2024 年 3 月より編集委員長）
- 4) 日本教育カウンセリング学会常任理事（研究委員，編集委員）

5 社会貢献

- 1) 高校出前講座，11.8 実施（清泉女学院高等学校）
- 2) メンタルヘルス講座「中学生のための教育心理学」，9.25 実施（山梨県甲陵中学校）

6 講演，放送

- 1) 岩手教育カウンセラー養成講座講師「特別支援の必要な子どもも生きる学級経営」，4.29 実施（オンライン）
- 2) 第 47 回 実践教育・心理検査基礎講座講師「Q・U による実践研究」，7.28 実施（日本教育会館）
- 3) 沖縄県今帰仁村学級づくり研修会講師，8.21 実施（オンライン）
- 4) 東京都町田市 hyper・QU 活用研修会講師，11.9 実施（町田市役所）

7 学会等での活動

- 1) 日本学級経営心理学会第 12 回定期総会の計画と運営（2024 年 3 月 3 日実施，早稲田大学）

8 学内教育活動

- 1) 担当科目「教育原論」の教科書として『教育の原理と実践』を執筆編集
- 2) 担当科目「現代教職論」の教科書として『教師の仕事』を執筆編集

9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスパーチ委員会（立ち上げに向けて協働的に活動した／ヒューマンサービス定義の解釈について意見を述べた）
- 2) 図書委員会（新たな図書館サービスの充実に向け意見を述べた）
- 3) 大学共通テストの試験監督者を務めた
- 4) 本学大学紀要の論文査読 1 本

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1)
- 2)
- 3)

11 学内研究助成金の受託

- 1)
- 2)
- 3)

12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1)
- 2)
- 3)

生田 倫子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 生田倫子 「ベイトソン、臨床、そして研究へ Interactional Mind 16」北樹出版

3 その他の著作

- 1) 「親族家族による被災者受け入れ支援について」日本家族心理学会第40回大会論文集

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本心理臨床学会，支援活動委員，
支援活動委員として，震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている．2013年12月～現在
- 2) 日本家族心理学会，常任理事，編集委員.. 2007年6月～現在
- 3) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会，事務局長，常任理事.)
事務局長として，学会の運営業務を行っている．2011年8月～現在
- 4) 日本ブリーフセラピー協会，常任理事.
常任理事会に，年6回出席し，学会運営業務を行っている．2007年4月～現在
- 5) 内閣府青少年インターネット環境整備企画分析委員会委員
- 6) 横浜市教育委員会学校課題解決支援事業専門家

5 社会貢献

- 1) 北海道医療大学非常勤講師『心理支援に関する理論と実践』『家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践』
- 2) 社会福祉法人児童養護施設手まり学園 研修・スーパーヴァイズ・コンサルテーション

6 講演、放送

- 1) 海上保安庁第三管区海上保安本部 メンタルヘルス講習会 講師
- 2) 海上保安庁第三管区保安本部・横浜海上保安部・横須賀海上保安部 メンタルヘルス研修、セクハラ・パワハラ講習会 講師
- 3) 東京都特別区職員研修所事業 「中堅保育士」講師
- 4) 横浜市西部児童相談所家族療法事業事例検討会 講師

8 学内教育活動

- 1) 学部
心理学, 教育心理学, 発達心理学, 人間発達学, 臨床心理学、カウンセリング論、文献検索とクリティーク, 教職実践演習（養護教諭）, 総合演習（養護教諭）
- 2) 大学院
コンサルテーション論（博士前期課程）
対人援助特論（博士後期課程）の講義

博士後期課程院生の副指導教員

3) その他

国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問

ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問

9 学内各種委員会活動

1) 研究科運営委員会委員

2) 人権倫理委員会

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

科学研究費補助金（基盤研究 C）「災害避難家族受け入れ親族のメンタルヘルス調査と心理的支援ガイドラインの作成」 研究代表者 生田倫子 研究経費 令和 3 年度 900 千円、令和 4 年度 900 千円、令和 5 年度 300 千円

城川 美佳（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1)
- 2)
- 3)

2 学術論文

- 1) Nishio A, Shibuya F, Reyes CS de los, Estrada C.A.M, Gregorio E.R.Jr., Sar D.P., Warnaini C, Kadriyan H, Sandra M.M.C., Hattori-Uchima M., Dacanay P., Dacanay R., Enos HL., Ngirmang TT., Khalif M., Volavola S.G., Tomokawa S., Kigawa M., Kobayashi J. (2023). Content analysis of health-related subjects in the K12 school curricula of Japan, Indonesia, Philippines, Guam, Micronesia, Marshall Islands, Palau, and Fiji. Tropical Medicine and Health 51:19, DOI:10.1186/s41182-023-00511-1
- 2) Kigawa M, Tsuchida A, Matsumura K, Ito M, Tanaka T, Hamazaki K, Adachi Y, Inadera H, JECS Group. (2024). Differences in health literacy related to gestational weight gain and children's birth weight according to maternal nativity status in the Japan Environment and Children's Study (JECS): a longitudinal cohort study. BMJ Open 2024; 14: e076899. DOI:10.1136/bmjopen-2023-076899

3 その他の著作

- 1)
- 2)
- 3)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本健康学会，理事，学会運営に関与する，通年
- 2) 国際学校保健コンソーシアム，事務局委員，コンソーシアムの運営等に関与する，通年
- 3) 神奈川県調理師試験委員会，委員，神奈川県調理師免許の試験問題の作成・検討を行う，通年
- 4) 横須賀市生活環境保全審議会，委員，横須賀市の生活環境保全について検討する，通年
- 5) 特定非営利活動法人訪問看護ステーションコスモス，理事，団体運営に関与する，通年
- 6) 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ，理事，団体運営に関与する，通年
- 7) 特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター，第11回ウェルフェアデザインコンテスト実行委員，当該コンテストの企画・応募作品の評価を担当した，通年

5 社会貢献

- 1) 東京都台東区山谷地区における路上生活者等への健康相談会にボランティアとして参加，通年(毎月第4土曜日に実施)
- 2)

3)

6 講演, 放送

1)

2)

3)

7 学会等での活動

1) 第 88 回日本健康学会総会 座長

2) 城川美佳, 土田暁子, 松村健太, 浜崎景, 稲寺秀邦. 出生コホート研究参加女性における産後 1 年間の質問票未回収の関連要因 -2-. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023.10. つくば市

3) 城川美佳, 清水真理, 友川幸. 教育養成機関での ESD 推進の成果と課題ー栄養不良の二重負荷をテーマとした授業研究ー. 第 88 回日本健康学会総会, 2023.12. 弘前市

4) 城川美佳, 門脇睦美, Bijay Maharjan, Ram Sharan Gopali, 下内昭. 日本に中長期滞在予定の外国出生者に対する結核教育ーネパールを対象にー. 第 88 回日本健康学会総会, 2023.12. 弘前市

8 学内教育活動

1) 担当科目(統計学, 疫学・社会調査, 研究法 I・II, サービス評価研究特論)の視聴覚教材の作成

2)

3)

9 学内各種委員会活動

1) 図書委員(令和 5 年 8 月末まで)

2) 研究委員会研究助成選考専門部会(令和 5 年 8 月末まで)

3) 実習ステーション委員(令和 5 年 8 月末まで)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 城川美佳, 日本に中長期滞在する外国人に対する結核予防教育のあり方の検討ーネパールを対象にー, 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(一般), 3,300,000 円, 2020～2023 年度

2) 城川美佳, 後開発途上国の ECD における健康増進活動の可能性と課題: 人間の安全保障の観点から(研究代表者: 三宅公洋), 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(一般), 250,000 円, 2022 年度.

3)

11 学内研究助成金の受託

1)

2)

3)

12 受賞

- 1) Pediatrics International に掲載された論文が、最多ダウンロード論文として表彰された
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1)
- 2)
- 3)

佐竹 弘行（大学院保健福祉学研究科兼務）

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける人間総合科の紹介を行う部屋の準備および運営等を担当
(2023年8月5日, 6日)

7 学会等での活動

- 1) 佐竹弘行, 「ククルビットウリルを併用する水素結合部位を有する蛍光性小分子リガンドによる簡便な生体関連分子検出手法の新たな開発に向けた検討」, 日本薬学会第 144 年会 (2024 年 3 月 31 日, 横浜) (学会発表)

8 学内教育活動

- 1) **化学概論** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 学生に対してリアクションペーパーを実施.) (全学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 2) **基礎有機化学①** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 学生に対してリアクションペーパーを実施.) (栄養学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 3) **基礎有機化学②** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 学生に対してリアクションペーパーを実施.) (栄養学科以外の学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 4) **基礎有機化学実験①** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 対面による学生との対話を適宜実施.) (栄養学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 5) **基礎有機化学実験②** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 対面による学生との対話を適宜実施.) (栄養学科以外の学科対象 (看護学科), 前期集中, **科目責任者**)
- 6) **文献検索とクリティーク** (学生に対してリアクションペーパーを実施. 文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導.) (社会福祉学科 (A クラス) 対象, 後期, クリティーク部分を担当)
- 7) **文献検索とクリティーク** (学生に対してリアクションペーパーを実施. 文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導.) (社会福祉学科 (B クラス) 対象, 後期, クリティーク部分を担当)
- 8) **英語 (保健医療福祉のための英語Ⅱ) ①** (学生に対してリアクションペーパーを実施. 文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導.) (看護学科 (A クラス) 対象, 後期, **科目責任者**)
- 9) **英語 (保健医療福祉のための英語Ⅱ) ②** (学生に対してリアクションペーパーを実施. 文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導.) (看護学科 (B クラス) 対象, 後期, **科目責任者**)
- 10) **薬の基礎科学** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 学生に対してリアクションペーパーを実施.) (全学科対象, 後期後半, **科目責任者**)
- 11) **物理学** (自作の補助教材 (プリント) 等を適宜使用. 対面による学生との対話を適宜実施.) (全学科対象, 後期, **科目責任者**)

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会 (自己評価審査会専門部会委員担当) (通年)

- 2) 教務委員会（通年）
- 3) ヒューマンサービスセンター地域貢献部門委員（通年）
- 4) 入学式・卒業式・修了式委員会（卒業式担当，後期）

14 その他

- 1) 人間総合科における E 会担当（科内の諸行事に関する管理）（通年）

志村 華絵（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

なし

2 学術論文

- 1) 志村華絵. (2023). 世代間交流事業に参加した祖父母世代の成人への交流に関する意識調査. 日本世代間交流学会誌, 13 巻 1 号 pp.13-20.
- 2) 志村華絵. (2023). 高齢者と子どもの交流を行う施設が交流に期待する効果 施設への質問紙調査結果を中心に. 日本世代間交流学会誌, 13 巻 1 号 pp.21-26.
- 3) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 日本保健医療福祉連携教育学会学術誌, 17 巻 1 号 pp.2-13.

3 その他の著作

なし

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 米国内科学会（American College of Physicians; ACP）日本支部
Physicians' Well-being Committee 委員（2022 年 7 月～現在）
医師のバーンアウト予防に関する活動に関わっており, ACP 日本支部会員の医師のバーンアウトに関する質問紙調査研究を行っている.
- 2) 日本内科学会 認定指導医, 認定総合内科専門医, 認定内科医
- 3) 資格認定試験（認定内科医・総合内科専門医）病歴評価委員として総合内科専門医試験の病歴評価を行った.
- 4) 日本血液学会認定血液指導医, 認定血液専門医
- 5) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 6) 日本輸血・細胞治療学会認定医
- 7) 日本医師会認定産業医
- 8) 日本救急医学会 ICLS（Immediate Cardiac Life Support）インストラクター
- 9) 難病指定医
- 10) 乳幼児食指導士

5 社会貢献

- 1) 長津田厚生総合病院 健診センター 非常勤医師
- 2) 神奈川県労働衛生福祉協会 非常勤医師
- 3) 立教女学院中学高等学校 生徒及び教職員の内科健診業務を行った.

6 講演、放送

なし

7 学会等での活動

- 1) 第 65 回日本老年医学会学術集会 口演発表 (2023 年 6 月 16 日)
志村華絵「幼児と高齢者の世代間交流が両者に与える医学的効果：老年科専門医及び小児科専門医への質問紙調査」
- 2) 日本世代間交流学会 第 14 回全国大会 口演発表 (2023 年 12 月 2 日)
志村華絵「高齢者と子どもの世代間交流による医学的効果 -神経内科専門医と精神科専門医への質問紙調査結果より-」
- 3) 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会 (2023 年 11 月 5 日)
渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子 「多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ」

8 学内教育活動

2023 年度 科目責任者担当科目

(社福 2 年) 医学概論

(リハ 2 年) 内科学Ⅰ, 内科学Ⅱ

2023 年度 担当科目

(栄養 2 年) 生体機能学実験

(リハ 2 年) 生理学実習

- 1) 日本プライマリ・ケア連合学会の総合医育成プログラムを通年で受講し、各分野の最新の情報を講義に反映させた。
- 2) 学生にモチベーションを維持し興味を持ってもらえるよう、教科書の知識のみならず実際の臨床現場での経験を講義内容に含めるようにした。
- 3) アクティブラーニング教育の一環として、学生にプレゼンテーションを行う機会を設け、学会形式で発表会を行った。
- 4) 講義内容には、当該分野の過去の国家試験出題内容を反映させた。重要事項を中心に講義終了 5 分を小テストにし、次回講義で内容の解説をして復習に役立てやすいように工夫した。講義ごとにリアクションペーパーで学生の理解度を把握するよう心掛けた。寄せられた質問には、毎週講義内で回答した。
- 5) オムニバスの講義（看護学科 2 年生 疾病と治療Ⅰ）については、オンライン講義を利用して臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者（各科目の専門医・指導医かつ研究者）に講義を依頼し、学生の聴講の機会を作った。
- 6) 看護学科からの依頼で、成人看護学（慢性期）Ⅱ 侵襲性のある看護技術実習時の有事対応を引き受けた。

9 学内各種委員会活動

- 1) アドミッションセンター 分析部門委員
- 2) 進路支援ワーキンググループ委員 自己評価委員
- 3) 時間割編成ワーキンググループ委員
- 4) 20周年記念事業企画ワーキンググループ委員
- 5) 研究倫理審査委員会 アドバイザー
医学的な内容を含む研究の倫理審査につき、医師として助言を行った。

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 「幼老複合施設における世代間交流が高齢者に与える医学的効果の検討」文部科学省科学研究費 若手研究（小区分 52010:内科学一般関連）

11 学内研究助成金の受託

なし

12 受賞

なし

13 特許など

なし

14 その他

- 1) 2022年度学長推薦研究（看護学科 渡邊恵先生）の共同研究者として、看護学科で使用していた模擬電子カルテを多職種連携の授業に活用する試みに関わり、他学科と協同して4年次生の「ヒューマンサービス総合演習」で事例提供ツールとして模擬電子カルテを活用している。従来よりあった症例を医学的に検証し、全症例について大幅な改定を行った。2023年度も同研究を継続した。
- 2) 「全身関節弛緩性と筋力、骨格筋量、ダイナペニア・サルコペニアとの関係の検討」（令和5年4月～令和5年12月31日）田中繁治、志村華絵（医学的アドバイザーとして研究に参加した。）
- 3) 「地域在住高齢者におけるビタミンB1栄養状態と食生活状況の関連」（令和6年3月～）五味郁子、志村華絵、福岡梨沙（医学的アドバイザー、血液検査実施要員として研究に参加している。）

福田 平（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Yokomachi J, **Fukuda T**, Mizushima Y, Nozawa N, Ishizaka H, Matsumoto K, Kambe T, Inoue S, Nishikawa K, Toyama Y, Takahashi R, Arakawa T, Yagi H, Yamaguchi S, Ugata Y, Nakamura F, Sakuma M, Abe S, Fujita H, Mizushima T, Toyoda S, Nakajima T. Clinical usefulness of phase angle as an indicator of muscle wasting and malnutrition in inpatients with cardiovascular diseases. Asia Pac J Clin Nutr. 2023; 32: 297-307.
- 2) Shibasaki I, Otani N, Ouchi M, **Fukuda T**, Matsuoka T, Hirota S, Yokoyama S, Kanazawa Y, Tezuka M, Takei Y, Tsuchiya G, Saito S, Konishi T, Ogata K, Toyoda S, Fukuda H, Nakajima T. Utility of growth differentiation factor-15 as a predictor of cardiovascular surgery outcomes: Current research and future directions. J Cardiol. 2024; 83: 211-218.
- 3) **Fukuda T**, Yokomachi J, Yamaguchi S, Yagi H, Shibasaki I, Ugata Y, Sakuma M, Yasuda T, Abe S, Fukuda H, Fujita H, Toyoda S, Nakajima T. Can we diagnose sarcopenia using anterior femoral muscle thickness in patients with cardiovascular disease? J Rehabil Med Clin Commun. 2024; 7: 12378-12378.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会 認定総合内科専門医、認定内科医
- 2) 日本循環器学会 認定循環器専門医
- 3) 日本心臓リハビリテーション学会 認定心臓リハビリテーション指導士
- 4) 日本医師会認定産業医
- 5) 日本医師会認定健康スポーツ医
- 6) 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
- 7) 日本心臓病学会
- 8) 日本体力医学会
- 9) 日本臨床運動療法学会
- 10) 日本臨床スポーツ医学会
- 11) 日本臨床生理学会
- 12) 日本病態栄養学会

5 社会貢献

- 1) サルコペニア、バイオマーカーなどの獨協医科大学での共同研究
- 2) 獨協医科大学（心臓血管内科/循環器内科）大学院生に対する学位指導

7 学会等での活動

- 1) 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（2023.7.15-16, 横浜）急性心不全患者における和温療法の血中adiponectin濃度に及ぼす作用. 西川理彦、中島敏明、福田平、西川佳織、天野裕久、有川拓男、伊波秀、正和泰斗、斎藤史哉、渡邊諒、矢澤寛子、安宅威久男、春山亜希子、半井美幸、岡野美貴子、山口すおみ、八木博、豊田茂
- 2) 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（2023.7.15-16, 横浜）心臓血管外科

手術患者におけるフレイル、サルコペニア予防のための血液マーカーの有用性. 福田平、中島敏明、柴崎郁子、福田宏嗣、豊田茂（シンポジウム）

- 3) 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（2023.7.15-16, 横浜）大動脈弁置換（TAVR, SAVR）術前女性患者の血清GDF-15濃度と筋機能との関連について：健常高齢女性との比較. 福田平、中島敏明、廣瀬優、外山洋平、石坂勇人、矢澤寛子、戸倉通彰、那須野尚久、柴崎郁子、福田宏嗣、豊田茂
- 4) 第71回日本心臓病学会学術集会（2023.9.8-10, 東京）Phase angleは、細胞外水分比が高い心血管疾患患者においても身体機能、栄養指標、サルコペニアのマーカーとなる. 福田平、中島敏明、横町淳、廣瀬優、春山亜希子、山口すおみ、天野裕久、有川拓男、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂
- 5) 第71回日本心臓病学会学術集会（2023.9.8-10, 東京）心大血管疾患患者の臥位大腿前面筋厚を用いたサルコペニア診断の有用性. 横町淳、中島敏明、福田平、山口すおみ、八木博、柴崎郁子、佐久間理吏、宇賀田裕介、阿部七郎、福田宏嗣、藤田英雄、豊田茂
- 6) 第42回日本臨床運動療法学会学術集会（2023.10.14-15, 栃木）サルコペニアのマーカーとしてのGDF-15、ミオスタチンの有用性についての検討. 福田平、西川理壺、山口すおみ、有川拓男、金谷智明、廣瀬優、矢澤寛子、天野裕久、西野節、戸倉通彰、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂、中島敏明
- 7) 第42回日本臨床運動療法学会学術集会（2023.10.14-15, 栃木）心大血管疾患患者の超音波法を用いた臥位大腿前面筋厚測定によるサルコペニア診断の有用性についての検討. 横町淳、中島敏明、福田平、戸倉通彰、金谷智明、廣瀬優、西野節、佐久間理吏、和久隆太郎、増山大樹、山内文武、阿部七郎、豊田茂
- 8) 第42回日本臨床運動療法学会学術集会（2023.10.14-15, 栃木）急性心不全入院患者における和温療法の血中adiponectin濃度に及ぼす作用. 西川理壺、中島敏明、福田平、天野裕久、有川拓男、伊波秀、春山亜希子、正和泰斗、斎藤史哉、渡邊諒、矢澤寛子、安宅威久男、半井美幸、岡野美貴子、豊田茂
- 9) 第42回日本臨床運動療法学会学術集会（2023.10.14-15, 栃木）心不全などの心血管疾患患者における位相角（PhA）と身体機能、栄養指標、サルコペニアとの関連について. 福田平、横町淳、水嶋優太、野澤直広、石坂勇人、松本和久、神戸貴大、井上翔太、西川佳織、外山洋平、高橋玲子、荒川智江、佐久間理吏、豊田茂、中島敏明
- 10) 第60回日本臨床生理学会総会（2023.10.21-22, 高崎）心不全などの患者における位相角（PhA）と身体機能、栄養指標、サルコペニアとの関連. 福田平、中島敏明、横町淳、廣瀬優、春山亜希子、山口すおみ、天野裕久、有川拓男、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂（シンポジウム）
- 11) The American Heart Association (November 11-13, 2023 Philadelphia, Pennsylvania, USA) Serum Adiponectin Levels Correlate With Atrial PPAR γ and TGF β 1 mRNA Expression in Patients Receiving Cardiac Surgery: Involvement of PPAR γ on Atrial Fibrotic Remodeling. Takafumi Nakajima, Toshiaki Nakajima, Akiko Haruyama, Taira Fukuda, Kentaro Minami, Masashi Sakuma, Syotaro Obi, Shichiro Abe, Ikuko Shibasaki, Hirotugu Fukuda, Shigeru Toyoda.
- 12) 第88回日本循環器学会学術集会（2024.3.8-10, 神戸）Serum Adiponectin Levels Correlate with Atrial PPAR γ and TGF β 1 mRNA Expression in Cardiac Surgery Patients: Involvement of Atrial Fibrosis. 中島敏明、中島貴文、福田平、春山亜希子、

南健太郎、小尾正太郎、佐久間理吏、柴崎郁子、阿部七郎、福田宏嗣、豊田茂

- 13) 第88回日本循環器学会学術集会 (2024.3.8-10, 神戸) Physiological Roles of Serum Acylcarnitine Level and Acylcarnitine/Free Carnitine Ratio in Patients with Cardiovascular Diseases. 中島貴文、中島敏明、福田平、天野裕久、有川拓男、柴崎郁子、佐久間理吏、阿部七郎、福田宏嗣、豊田茂
- 14) 第88回日本循環器学会学術集会 (2024.3.8-10, 神戸) Phase Angle is a Marker of Muscle Wasting and Malnutrition in Cardiovascular Disease Patients with High Extracellular Water Ratios. 福田平、中島敏明、横町淳、廣瀬優、春山亜希子、山口すおみ、天野裕久、有川拓男、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂

9 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会委員
- 2) 広報委員会委員
- 3) アドミッションセンター入試広報部門委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)、高齢化社会における GDF-15 を規定する因子の解明とサルコペニアの予防法の開発、福田平, 中島敏明, 松本晃裕、4,420,000 円 (2020 年 4 月 - 2024 年 3 月)。

高橋 和子

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本医学英語教育学会評議員（通年）
- 2) 日本医学英語教育学会
- 3) 日本大学英語教育学会
- 4) 日本免疫学会
- 5) 日本薬学会
- 6) The American Association of Immunologists

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学医学部英語非常勤講師（通年）
- 2) 東京大学教養学部英語非常勤講師（通年）

7 学会等での活動

- 1) 日本医学英語教育学会評議員として日本医学英語検定試験の運営に貢献した。（通年）

8 学内教育活動

- 1) 英会話 I（前期）4 クラス
- 2) 英語講読（前期）
- 3) 英会話 II（後期）
- 4) 保健医療福祉のための英語 II（後期）2 クラス
- 5) 免疫学（後期）
- 6) 文献検索とクリティーク（後期）
- 7) チューター（通年）
- 8) 留学等の相談（通年）

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会委員（通年）「うみかぜ祭」実施等.
- 2) FDSD 委員（通年）
- 3) 国際協働専門部会委員（通年）「横須賀米海軍病院見学」9 月および 2 月に実施，「留学生入学時オリエンテーション」，「国際的に活躍する卒業生のセミナー」，「留学生との交流会」等.

14 その他

- 1) 本学教育研究活動のための英語文章制作支援、通訳支援に努めた.